



平成 20 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 三井住友海上グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 江 頭 敏 明
(コード番号：8725 東証・大証・名証各第一部)
問合せ先 経理部次長 今 井 純 一
(TEL.03-3297-6168)
広報部次長 橋 本 城里雄
(TEL.03-3297-6498)

平成 21 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想修正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 21 日に発表いたしました平成 21 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間(中間期)の連結業績予想について、次のとおり修正いたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間連結業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：億円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	10,500	370	240
今回修正予想 (B)	10,400	50	125
増減額 (B - A)	100	420	115
増減率	1.0%	113.5%	47.9%
(参考)前年同期実績 ^(注)	10,818	462	305

(注)当社は平成 20 年 4 月 1 日設立のため、前年同期実績には当社の子会社である三井住友海上火災保険株式会社の前年同期の連結業績を記載しております。

(ご参考)三井住友海上火災保険株式会社(単体)の第 2 四半期累計期間の業績見込み^(注)

(単位：億円)

	経常利益	中間純利益
今回業績見込	350	510
前年同期実績	410	280

(注)後掲「(ご参考)三井住友海上火災保険株式会社(単体)の第 2 四半期累計期間の業績見込みについて」もご参照ください。

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間(中間期)においては、子会社である三井住友海上火災保険株式会社(単体)において、支払保険金(支払備金を含む。)が年初予想額を下回ったことなどから、保険引受損益が改善(年初予想比 約330億円)する見通しとなりました。一方、米国発金融危機による市場の混乱の影響を受け、資産運用において約450億円の有価証券評価損(連結)が発生したほか、欧州子会社における信用保険の引受に関して大口の保険金支払見込額(支払備金)が発生したことにより、当該子会社において約400億円の経常損失が生じる見通しとなりました。このうち、有価証券評価損の発生に伴っては、特別利益として価格変動準備金の取崩し(約270億円)を見込んでおります。

これらの要因を踏まえ、経常収益、経常利益および中間純利益について業績予想数値を修正するものであります。

なお、通期の業績予想については現在作成中であり、中間決算発表時(平成20年11月19日)に公表する予定です。

(ご参考) 三井住友海上火災保険株式会社(単体)の第2四半期累計期間の業績見込みについて

子会社である三井住友海上火災保険株式会社(単体)の当第2四半期累計期間(中間期)の業績に関しては、約424億円の有価証券評価損が発生したものの、保険引受損益が改善(前年同期比 約248億円)する見通しであるほか、価格変動準備金の取崩し(約270億円)が見込まれており、中間純利益は前期比約230億円の増益となる見通しであります。

* 上記業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上